

JIS

UDC 621.315.674 : 621.316.31

C 8375

大角形連用配線器具の取付枠

JIS C 8375⁻¹⁹⁹²

平成 4 年 8 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 4. 8. 1

官 報 公 示：平成 4. 8. 20

原案作成協力者：日本配線器具工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 電気部会（部会長 増田 閃一）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部電気規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

大角形連用配線器具の取付枠

C 8375-1992

Mounting frame for
interchangeable wiring devices of large square boss type

1. 適用範囲 この規格は、大角形連用配線器具(以下、器具という。)の取付枠について規定する。

備考1. 取付枠は、JIS C 8303の付図10の(2)(大角形ボス用)、JIS C 8304の付図2の(3)[連用形(大角形ボス)のもの]、(4)(スイッチのボスの形状と寸法)に規定される寸法の器具をJIS C 8336のスイッチボックス、JIS C 8340の露出スイッチボックス、JIS C 8435のスイッチボックス(以下、ボックスという。)に取り付ける際に、JIS C 8316のフラッシュプレート(以下、プレートという。)と組み合わせて用いられるものである。

2. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS C 8303 配線用差込接続器

JIS C 8304 屋内用小形スイッチ類

JIS C 8306 配線器具の試験方法

JIS C 8316 フラッシュプレート

JIS C 8336 埋込配管用の附属品(電線管用)

JIS C 8340 露出配管用の附属品(電線管用)

JIS C 8435 硬質ビニル製ボックス及びそのカバー

JIS G 3141 冷間圧延鋼板及び鋼帯

3. この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位であって参考値である。

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次のとおりとする。

(1) 金属製取付枠 金属製のもので器具の外郭を止める金具(以下、止め金具という。)などに設けられている固着用係止部に対応する取付枠の固着用つめ部を差し込み、ドライバなどでかshめて器具を固着するもの。

(2) 合成樹脂製取付枠 合成樹脂成形品のもので器具の突起部や外郭を挟むか、又はねじ止めなどで器具を固着するもの。

なお、部分的に金属製のものであっても、器具固着部など主要部が合成樹脂のもの及びJIS C 8316に定める共用枠は、これに含める。

3. 性能

3.1 機械的強度 機械的強度は、5.2によって試験したとき、次に適合しなければならない。

(1) ボックス取付部強度 ボックス取付部強度は、5.2(1)によって試験したとき、取付枠から器具の外れ、取付枠の破損及びクラックの発生がないこと。

(2) プレート取付用ねじ部強度 プレート取付用ねじ部強度は、5.2(2)によって試験したとき、めねじの破損及び取付枠にクラックの発生がないこと。

(3) 耐荷重強度 耐荷重強度は、5.2(3)によって試験したとき、取付枠から器具の外れ、取付枠の破損及びクラッ